

# 「音更町の人口に関する資料」

《総合計画に関する参考資料》

音 更 町

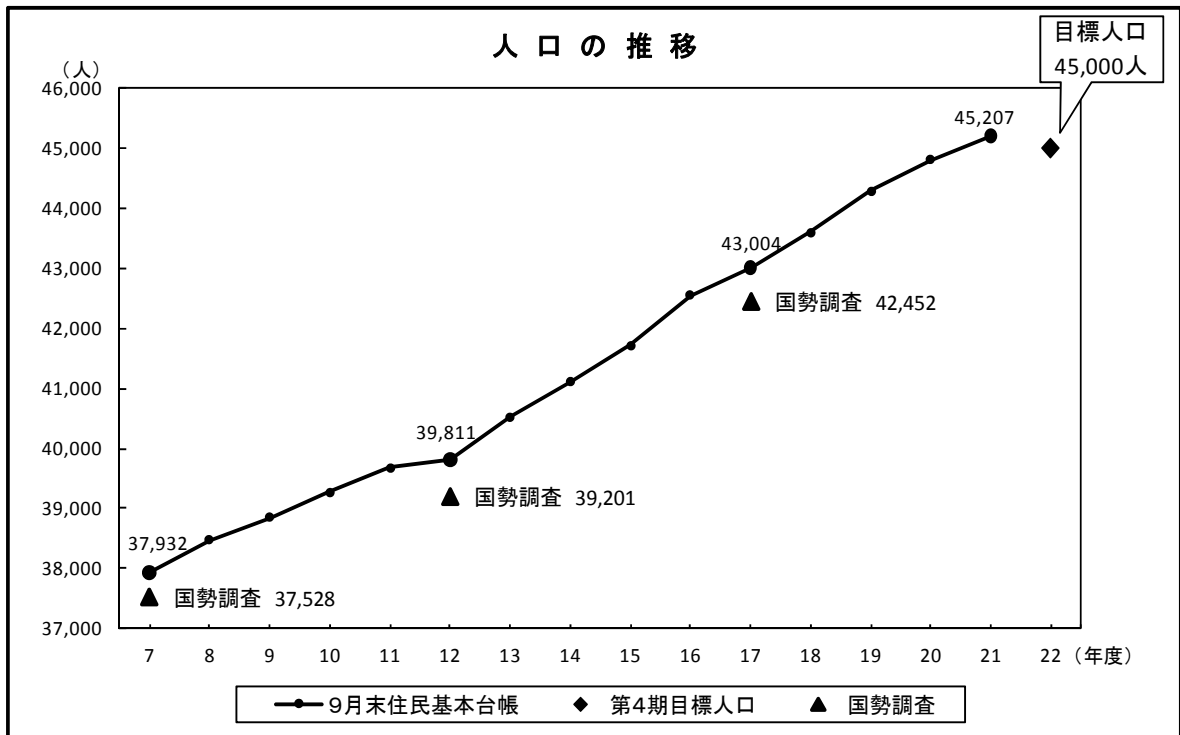
平成22年1月作成

# も く じ

I	人口等の推移	
1	人口	1
2	世帯数及び一世帯人員	1
3	年齢別人口	2
	(1) 年齢別人口(人数)	2
	(2) 年齢別人口(構成割合)	2
4	人口動態	3
	(1) 自然動態(出生・死亡)	3
	(2) 社会動態(転入・転出)	3
	(3) その他	3
5	人口ピラミッド	4
II	宅地開発等の状況	
1	宅地開発の状況	5
	(1) 人口・世帯数の推移と主な宅地開発	5
	(2) 主な宅地開発の状況	5
2	1市3町(帯広市、音更町、芽室町、幕別町)における人口推移	7
	(1) 1市3町の人口推移	7
	(2) 1市3町合計の人口推移	7
III	人口推計	
1	人口推計①	8
	(1) 全国総人口	8
	(2) 音更町の人口	9
2	人口推計②	10
	(1) 人口推計	10
	(2) 年齢別人口推計(人数)	11
	(3) 年齢別人口推計(構成割合)	11
IV	その他の資料	
1	地区別の人口及び世帯数の状況	12
	(1) 音更市街地区	13
	(2) 木野市街地区	14
	(3) 宝来地区	16
	(4) 温泉地区	17
	(5) 駒場地区	18
	(6) 農村東北部地区	19
	(7) 農村東南部地区	20
	(8) 農村西南部地区	21
	(9) 農村西北部地区	22

# I 人口等の推移

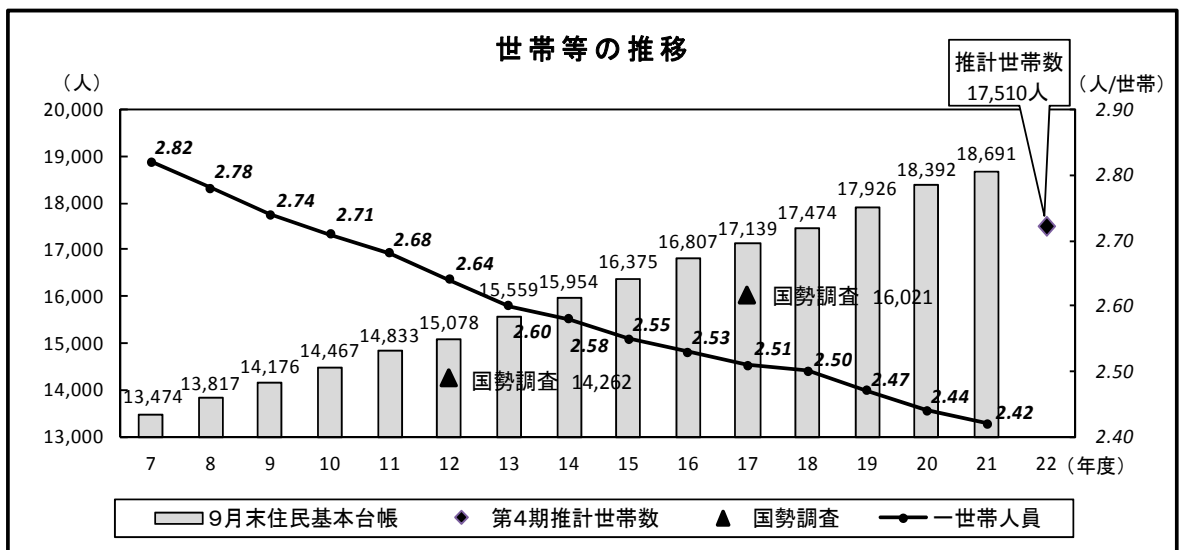
## 1 人口



年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
9月末住民基本台帳	37,932	38,474	38,854	39,268	39,687	39,811	40,528	41,116	41,715	42,545	43,004	43,604	44,298	44,814	45,207
前年度比		542	380	414	419	124	717	588	599	830	459	600	694	516	393

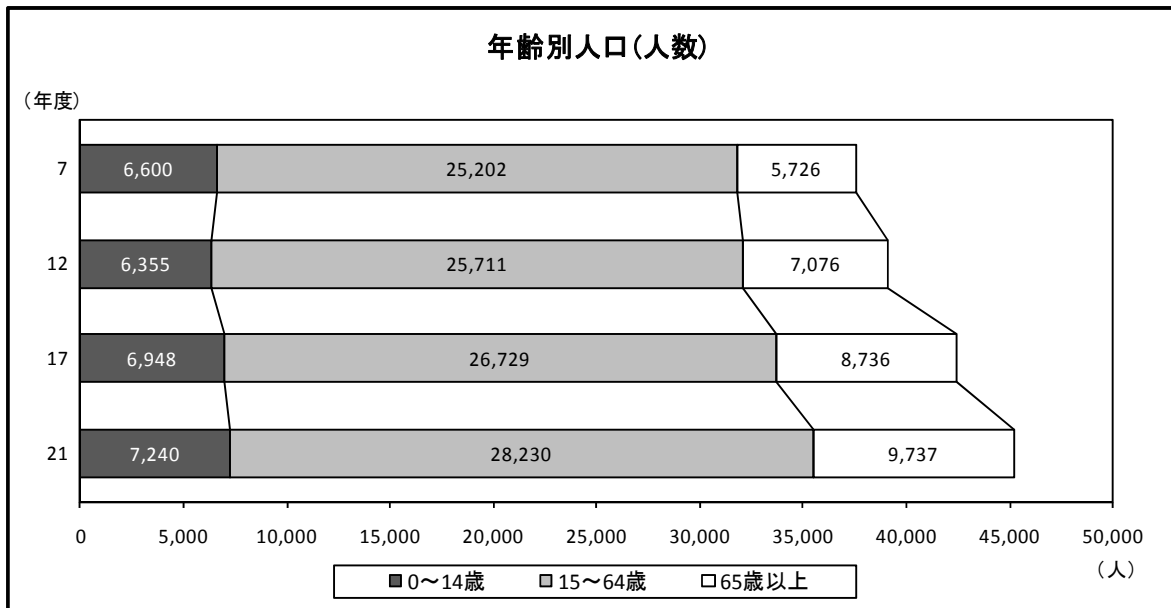
※メモ  
5年ごとに行われる国勢調査の基準日が10月1日であることから、住民基本台帳における数値は9月末現在で作成。(下グラフ同じ。)

## 2 世帯数及び一世帯人員



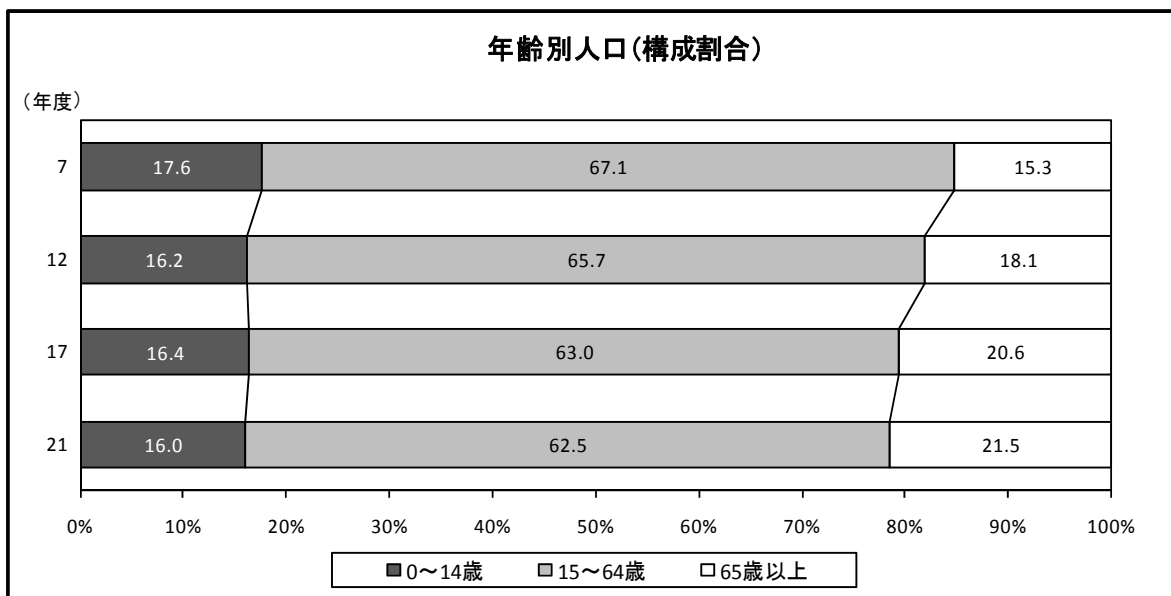
### 3 年齢別人口

#### (1) 年齢別人口（人数）



※メモ  
 数値は、「平成7～17年度」が国勢調査、平成21年度が9月末住民基本台帳。（下グラフ同じ。）  
 なお、平成12・17年度の数値は、年齢不詳の方がいるため、合計は人口総数と一致しない。

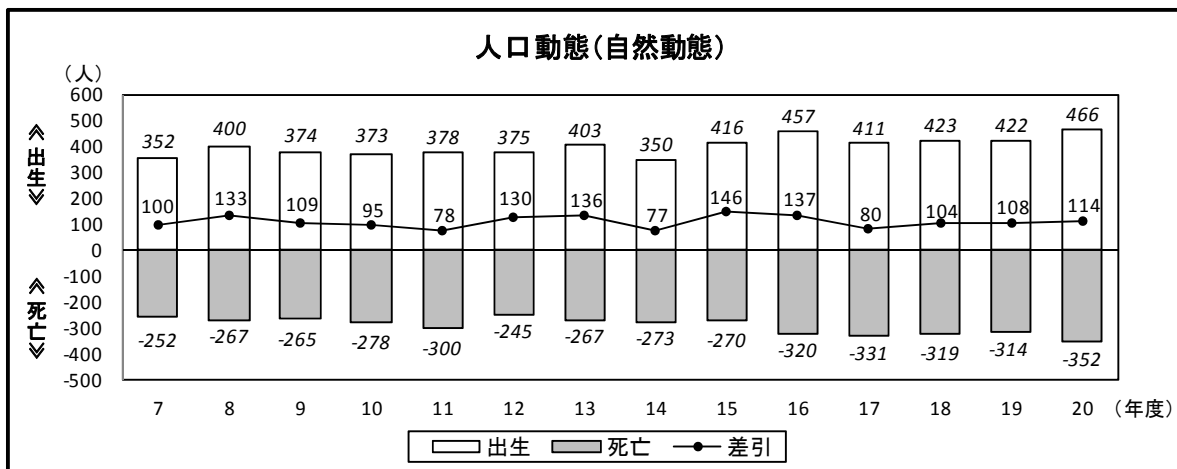
#### (2) 年齢別人口（構成割合）



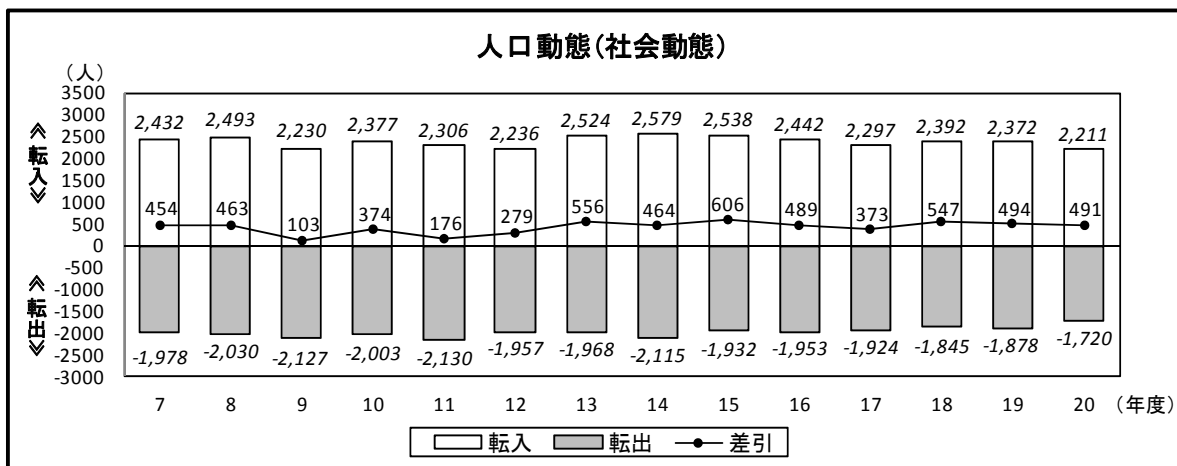
※メモ  
 合計が100%になるように端数調整しています。

## 4 人口動態

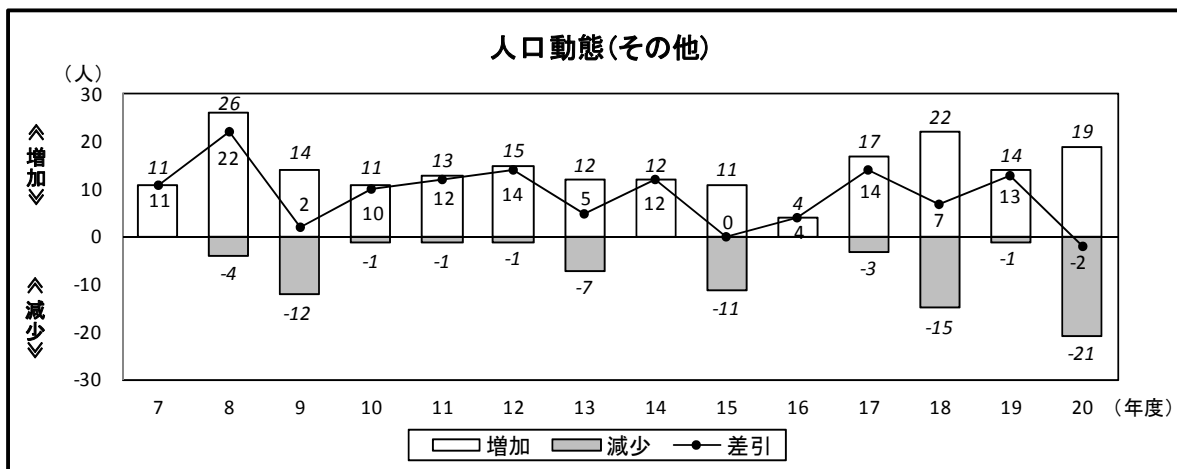
### (1) 自然動態 (出生・死亡)



### (2) 社会動態 (転入・転出)

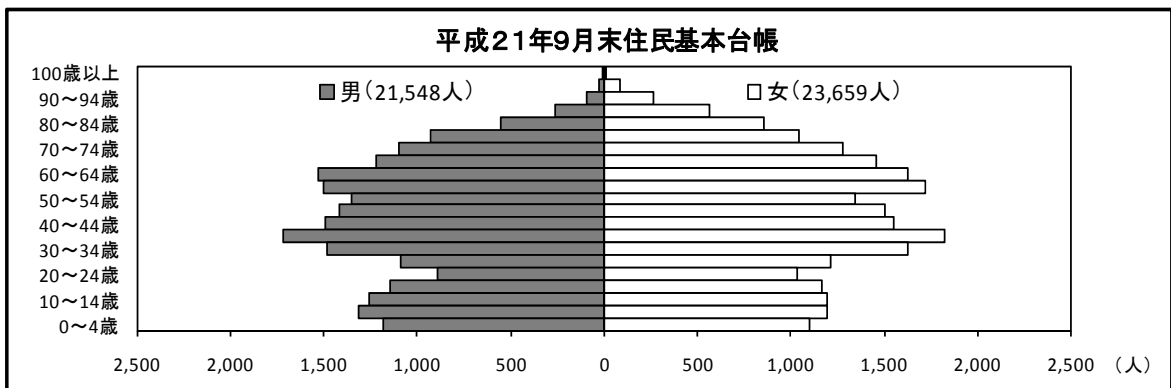
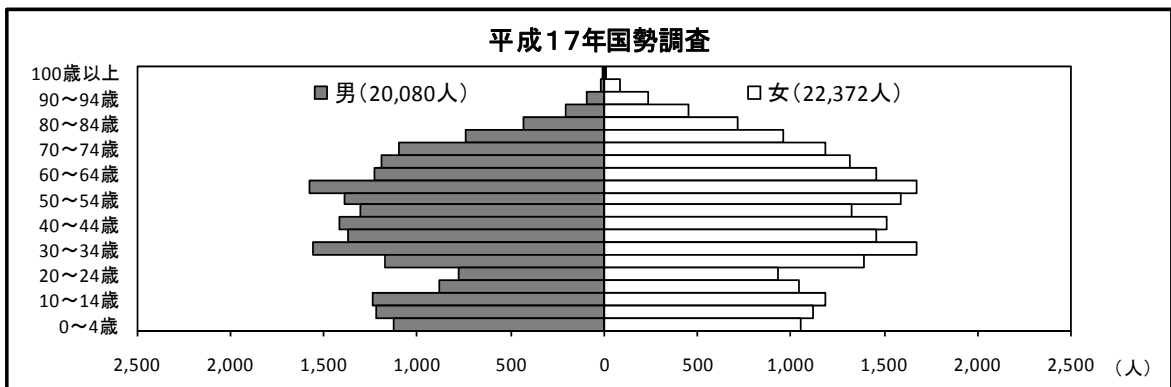
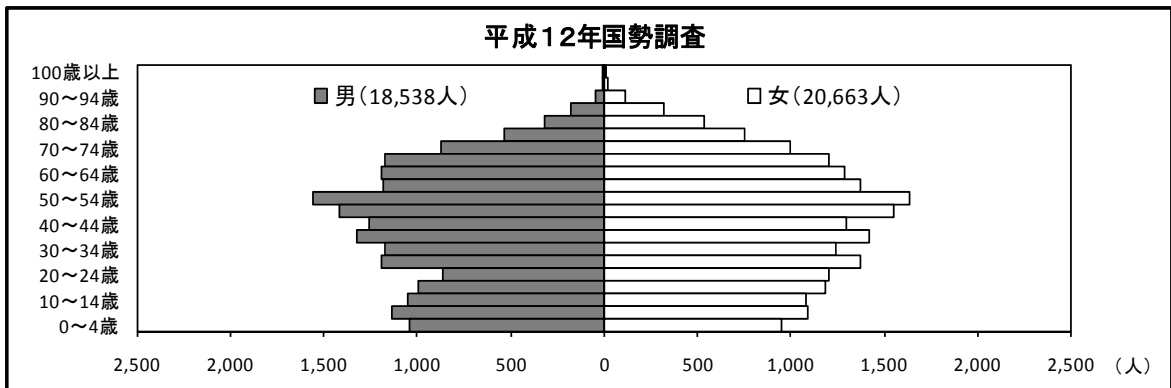
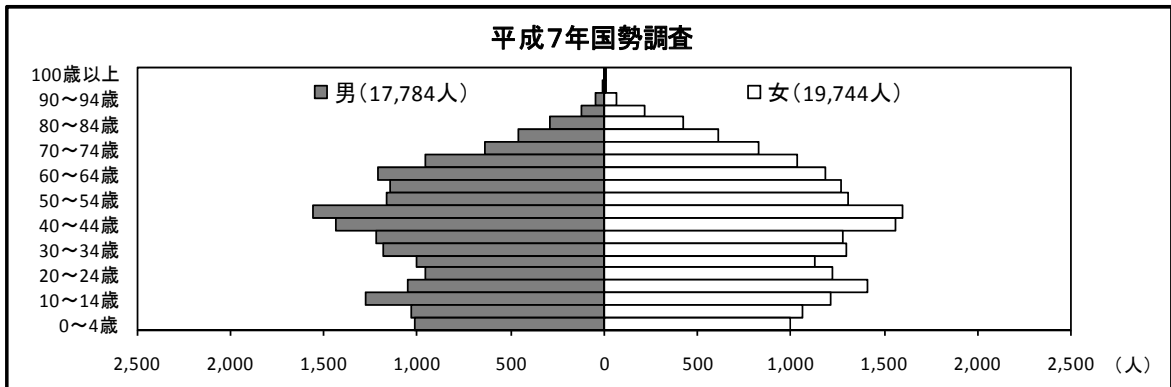


### (3) その他



※メモ  
 (1) から (3) の数値は、住民基本台帳における年度内 (4月から翌年3月まで) の合計値。

## 5 人口ピラミッド

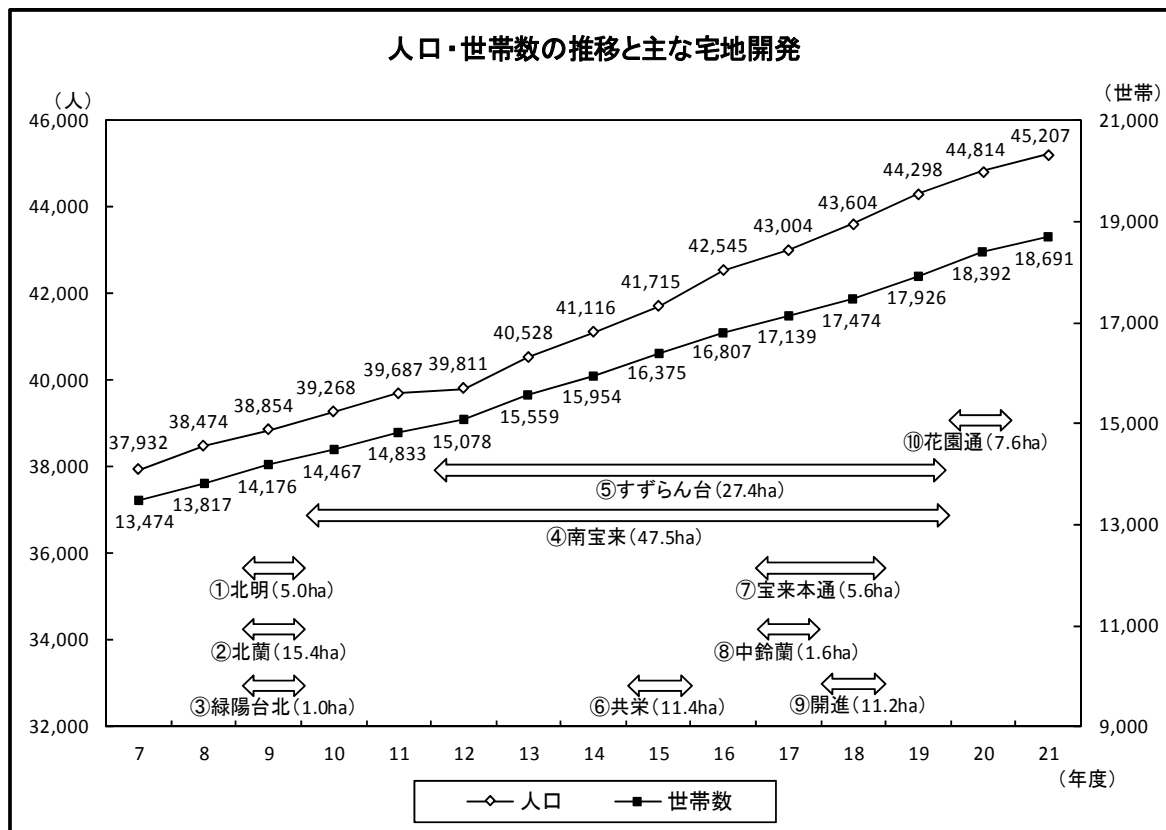


※メモ  
 グラフ調整の都合上、年齢表示（グラフ左側）が1階層置きになっています。

## II 宅地開発等の状況

### 1 宅地開発の状況

#### (1) 人口・世帯数の推移と主な宅地開発



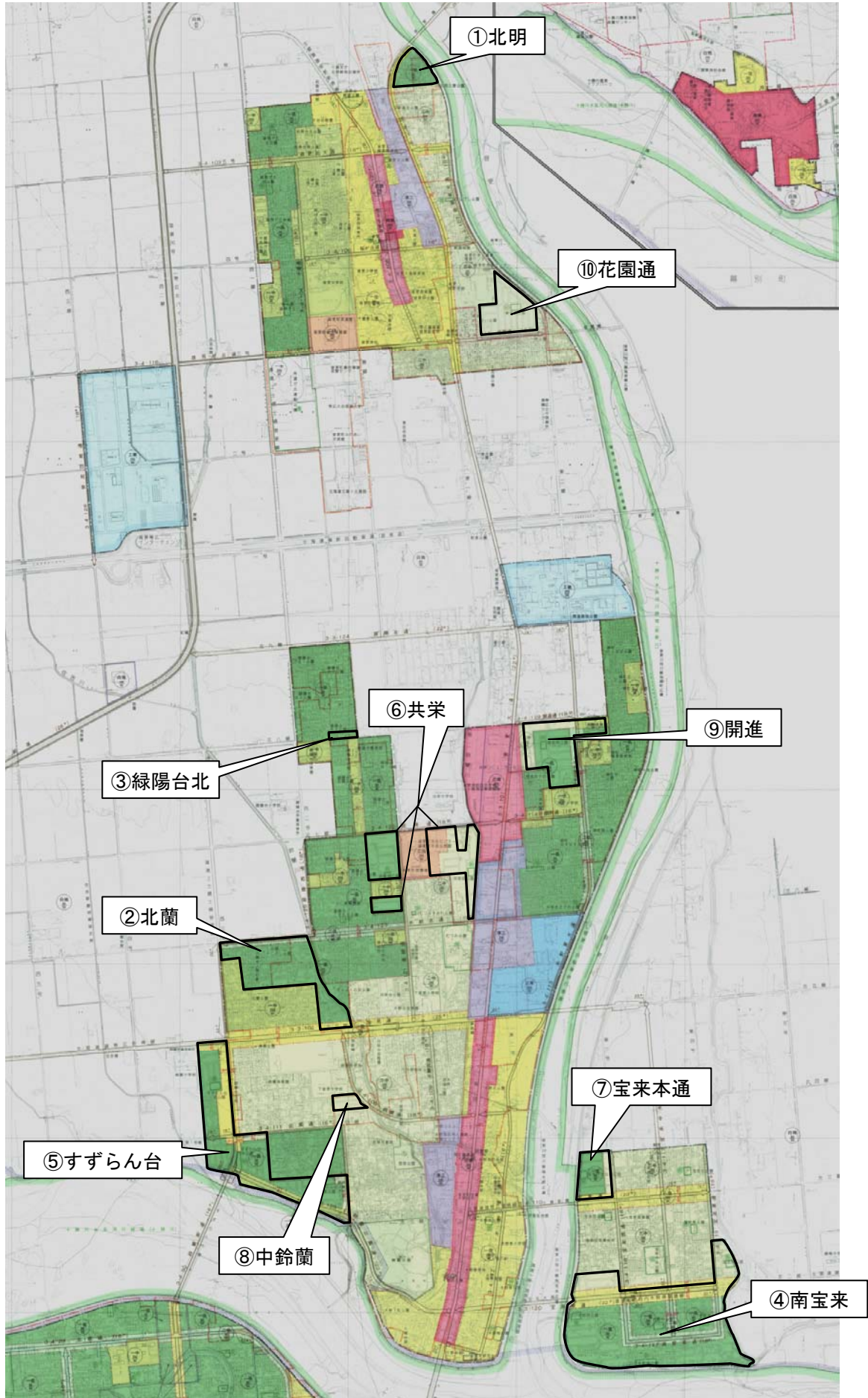
#### (2) 主な宅地開発の状況

主な宅地開発における平成21年12月16日現在の未建築区画数。

地区名	開発手法	地区面積(m <sup>2</sup> )	造成区画数	建築済区画数 (H21.12.16 現在)	未建築区画数
① 北 明	開発行為	49,633	97	86	11
② 北 蘭	開発行為	154,489	376	308	68
③ 緑 陽 台 北	開発行為	9,932	27	27	0
④ 南 宝 来	土地区画整理	475,433	1,143	879	264
⑤ す ず ら ん 台	土地区画整理	273,725	530	411	119
⑥ 共 栄	開発行為	114,192	253	220	33
⑦ 宝 来 本 通	土地区画整理	56,485	118	79	39
⑧ 中 鈴 蘭	開発行為	16,067	40	32	8
⑨ 開 進	開発行為	112,759	279	210	69
⑩ 花 園 通	開発行為	76,119	189	84	105
計	—	1,338,834	3,052	2,336	716

※参考 716 区画×2.42 (H21.9 末住民基本台帳一世帯人員) = 1,733 人

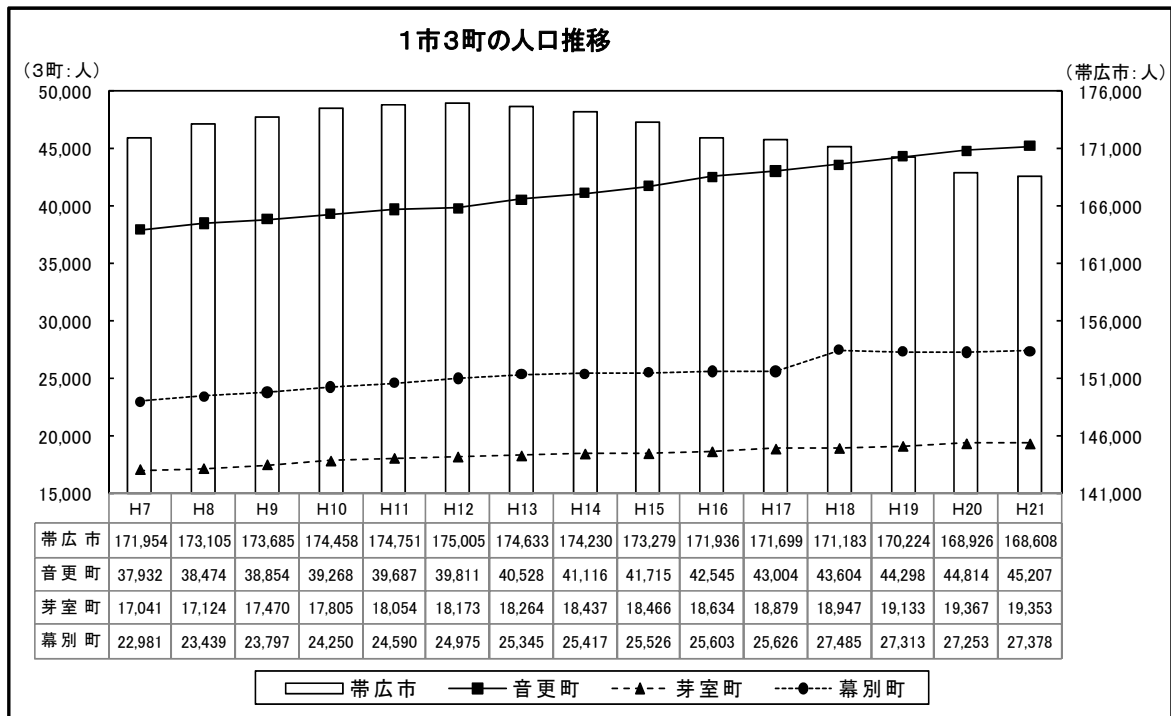
※参考 主な宅地開発の位置図



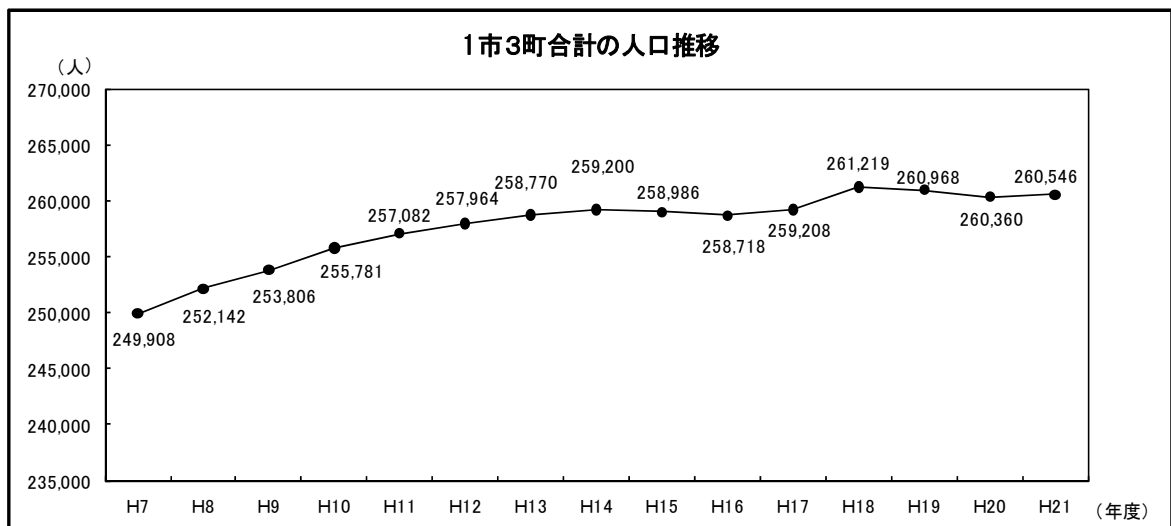


## 2 1市3町（帯広市、音更町、芽室町、幕別町）における人口推移

### (1) 1市3町の人口推移



### (2) 1市3町合計の人口推移



**※メモ**

他自治体の数値は、下記出典資料における9月末住民基本台帳人口による。  
幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併。

**※出典資料等（ホームページより）**

- 十勝支庁地域振興部地域政策課  
「とがちの統計」
- ・十勝管内住民基本台帳人口 四半期別住民基本台帳の推移。

### Ⅲ 人口推計

#### 1 人口推計①

将来推計人口については、国立社会保障・人口問題研究所において、平成17年国勢調査を基準人口とした推計が行われ、公表されている。

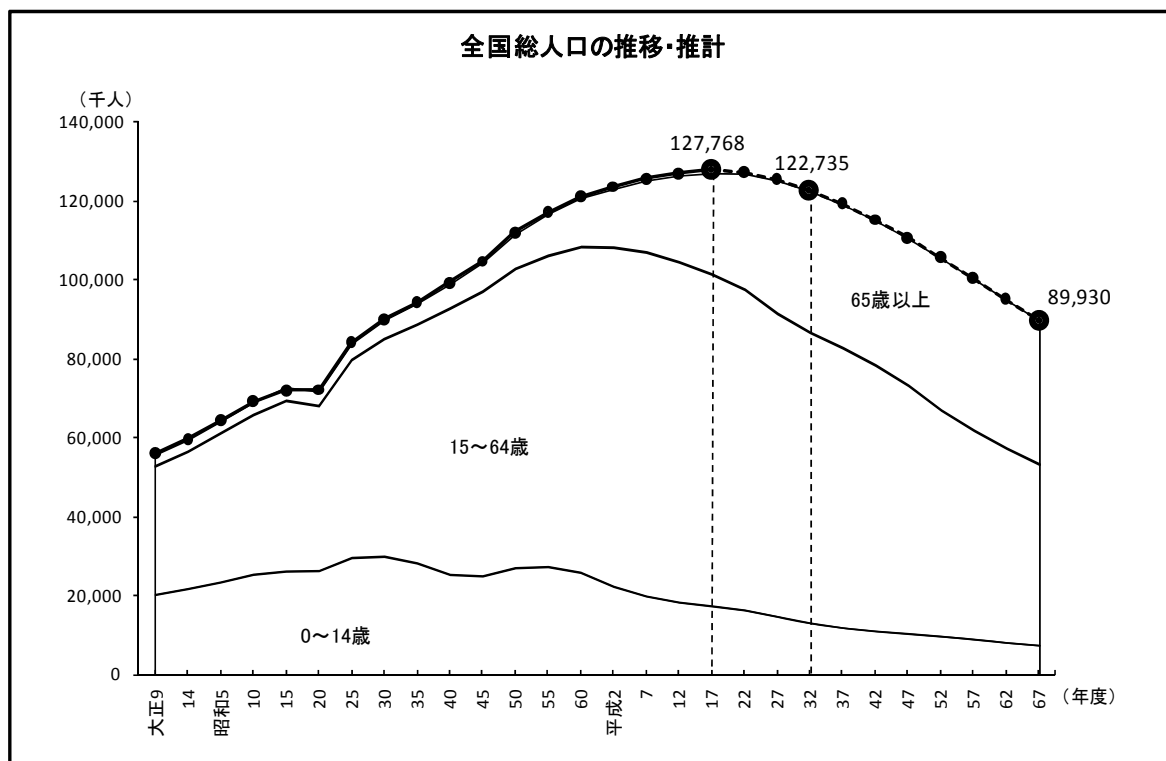
#### ○国立社会保障・人口問題研究所

厚生労働省に設置された国立の政策研究機関で、日本の人口変動の社会経済的背景を分析し、将来人口の的確な見通しをたてるとともに、年金・医療・介護・保育など社会保障の各分野についての社会科学的分析を行っている研究所。

#### ○将来推計人口

平成17年国勢調査の第一次基本集計結果、ならびに同年人口動態統計の確定数が公表されたことを踏まえ、これらに基づいた新たな全国将来人口推計を平成18年12月に公表。

#### (1) 全国総人口



※出典資料等（ホームページより）

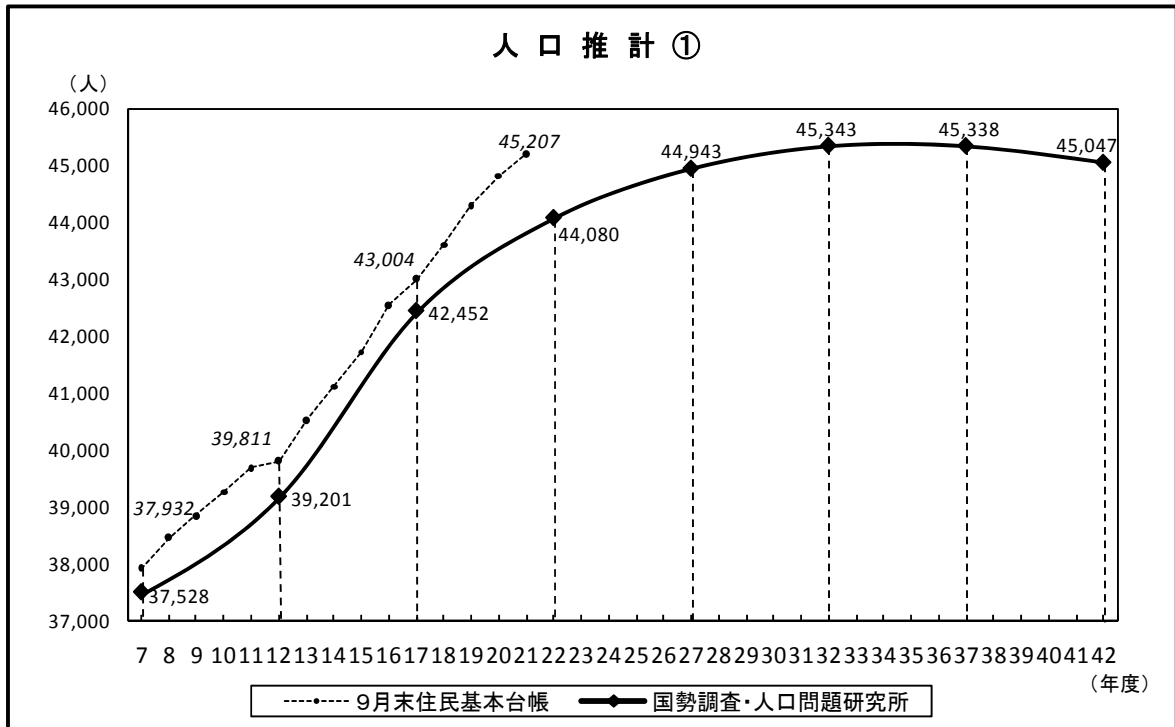
○総務省統計局刊行、総務省統計研修所編集「日本の統計 2009」

○国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

・大正9年～平成17年は国勢調査。

平成22年以降は将来推計人口（平成18年12月推計：各年10月1日の中位推計値）。

## (2) 音更町の人口



※出典資料等 (ホームページより)

○国立社会保障・人口問題研究所

『日本の市区町村別将来推計人口』(平成20年12月推計)

・平成17年まで国勢調査。平成22年以降は将来推計数値(10月1日)。

国立社会保障・人口問題研究所の推計結果については、下記「推計方法」とおり一律補正が行われており、都道府県の将来人口においても同様に前ページの全国総人口に一致するよう一律補正が行われているものである。

### ※メモ

「日本の市区町村別将来推計人口(平成20年12月推計)ー平成17(2005)～47(2035)ー」より抜粋(国立社会保障・人口問題研究所のホームページより)

#### 2. 推計方法

5歳以上の年齢階級の推計においては、コーホート要因法を用いた。コーホート要因法は、ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態率や移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算する方法であり、5歳以上人口推計においては生存率と純移動率の仮定値が必要である。一方0～4歳人口については出生率に関する仮定値が必要であるが、市区町村別の出生率は年による変動が大きいことから、子ども女性比の仮定値によって推計した。

以上の推計においては、(1)基準人口、(2)将来の生存率、(3)将来の純移動率、(4)将来の子ども女性比、(5)将来の0～4歳性比、が必要となる。

なお、上記の方法により各市区町村別に推計値を求めた後、男女・年齢別推計人口の都道府県内全市区町村の合計が、「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)による各都道府県の男女・年齢別推計人口の値と一致するよう一律補正を行ったものを、最終の推計結果としている。

## 2 人口推計②

国立社会保障・人口問題研究所で公表された将来推計人口が、本町の住民基本台帳の直近における実績（平成21年度まで）の増加状況と差が生じていることから、(株)日本コンサルタントグループにおいて独自の推計を行った。

### ○推計方法

国勢調査の実績（平成2年～17年）による男女別・5歳階級別人口を用いたコーホート変化率法による推計。推計内容は、次のとおりである。

- ・ 3回平均変化率

：直近4回の国勢調査から得られる3回分の変化率の平均値を使用した推計

- ・ 2回平均変化率

：直近3回の国勢調査から得られる2回分の変化率の平均値を使用した推計  
それぞれのコーホートの推計方法については、下記のとおりである。

なお、変化率法は、過去の実績の動勢により推計されている点に注意が必要である。

#### ※メモ

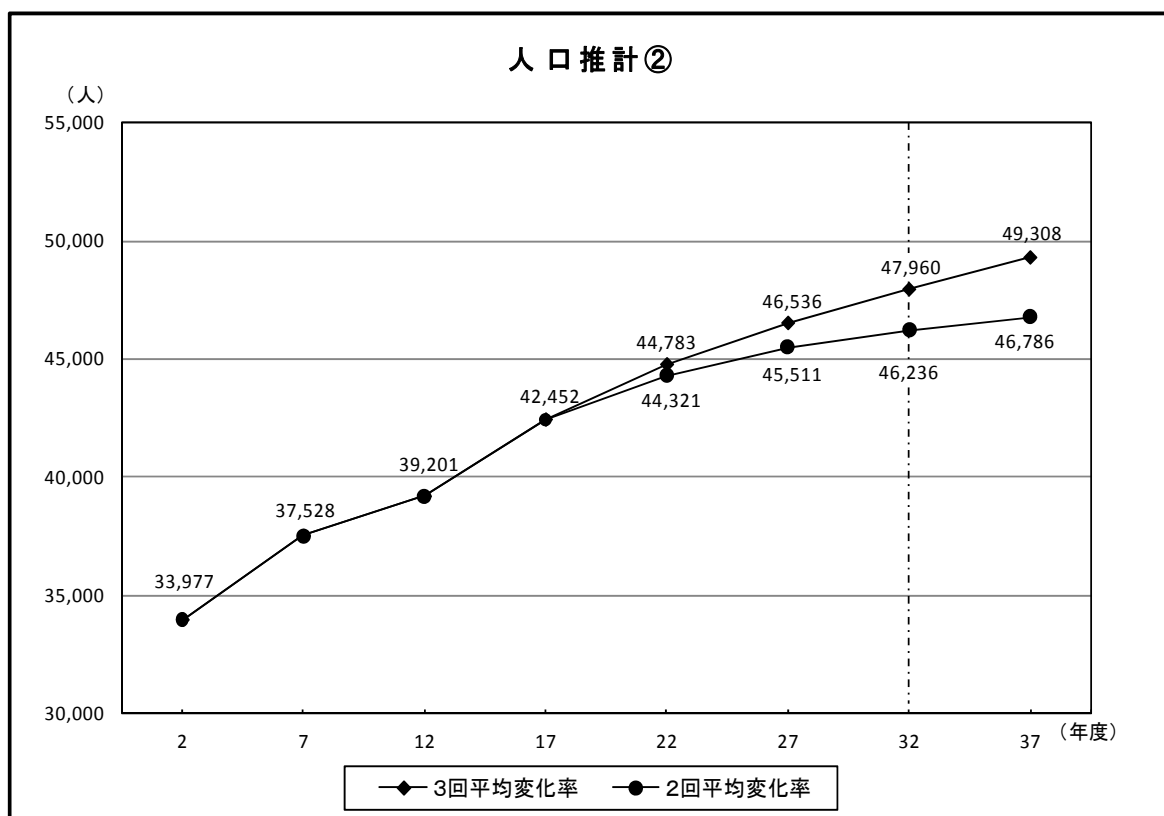
##### ○コーホート変化率法

：「コーホート変化率法」とは、各コーホートについて、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

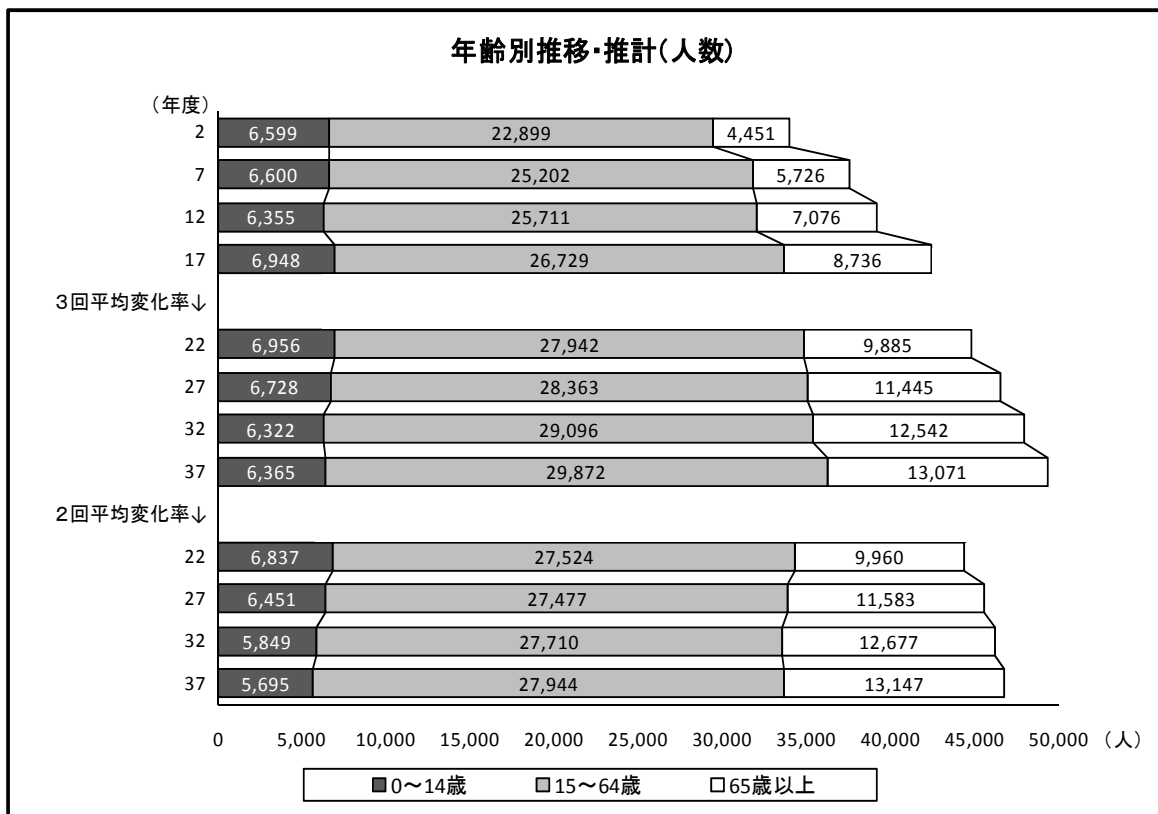
##### ○コーホート要因法

：「コーホート要因法」とは、各コーホートについて、「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法。

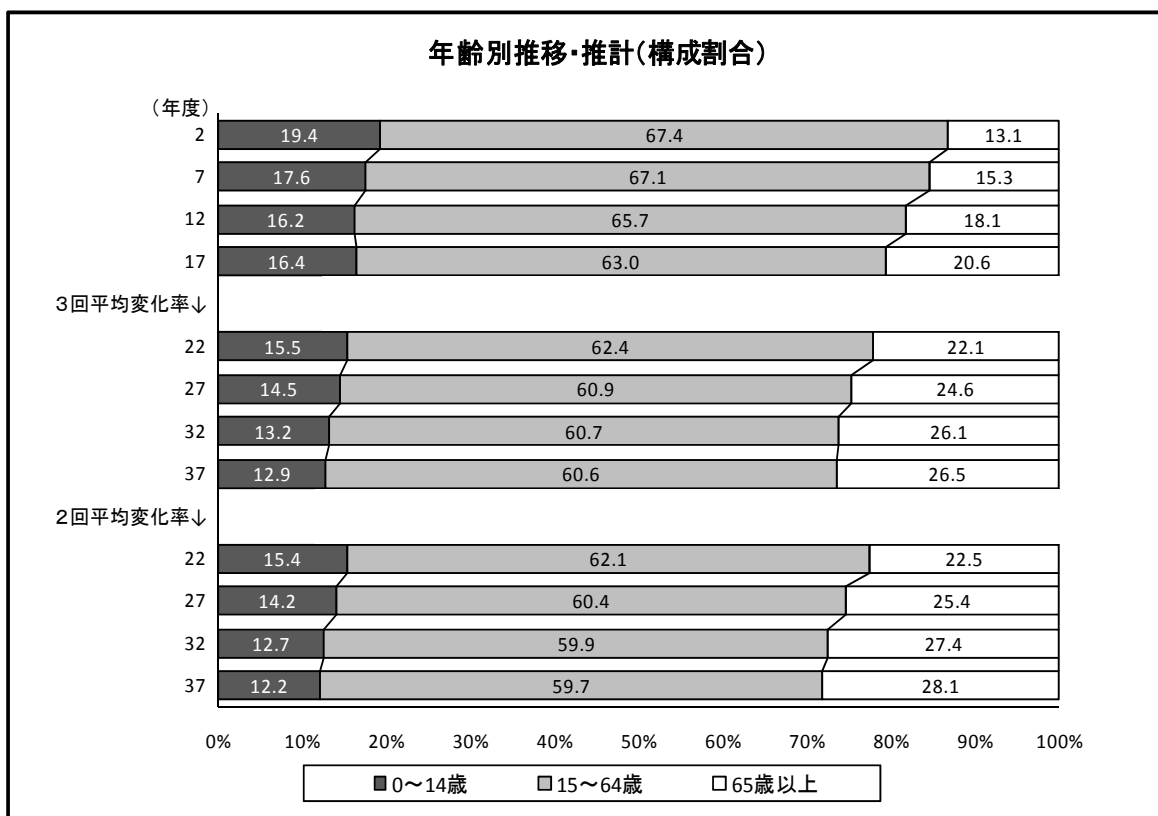
### (1) 人口推計



(2) 年齢別人口推計 (人数)



(3) 年齢別人口推計 (構成割合)



## IV その他の資料

### 1 地区別の人口及び世帯数の状況

本町の地区別の人口及び世帯数の推移です。

#### ※出展資料等

○地区の区分：平成20年度版音更町統計書

○人口・世帯数

・平成10年度～平成20年度：平成20年度版音更町統計書（住民基本台帳年度末現在）

・平成21年度：住民基本台帳（平成21年11月末）

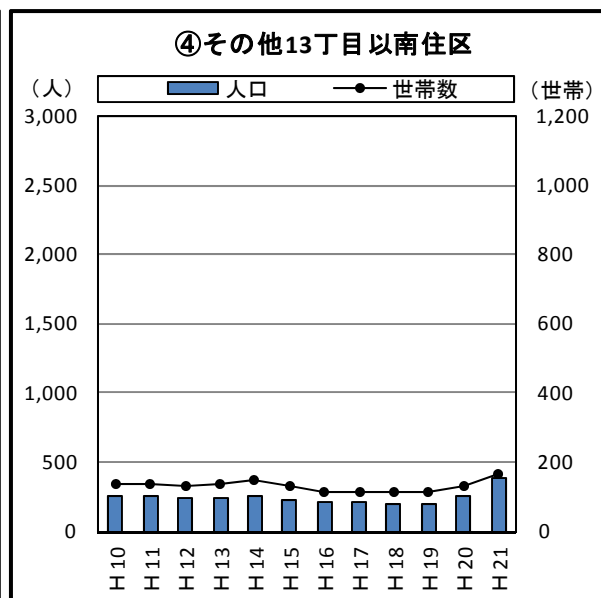
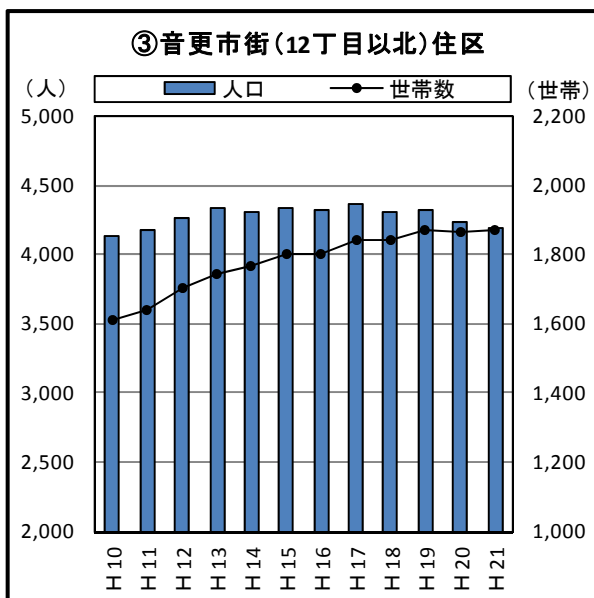
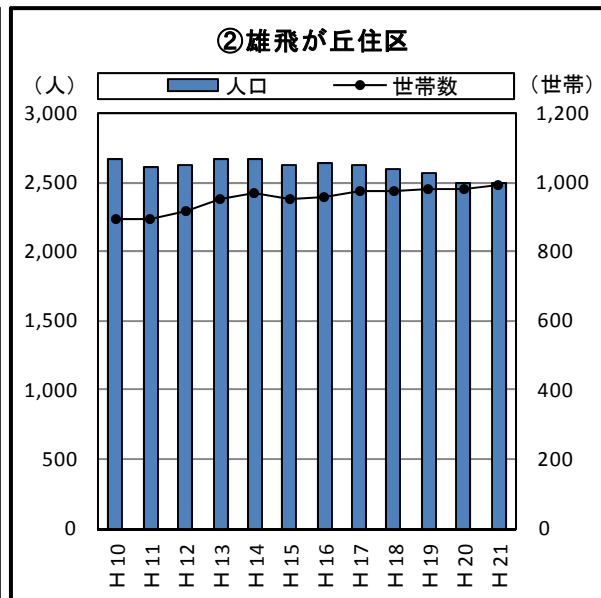
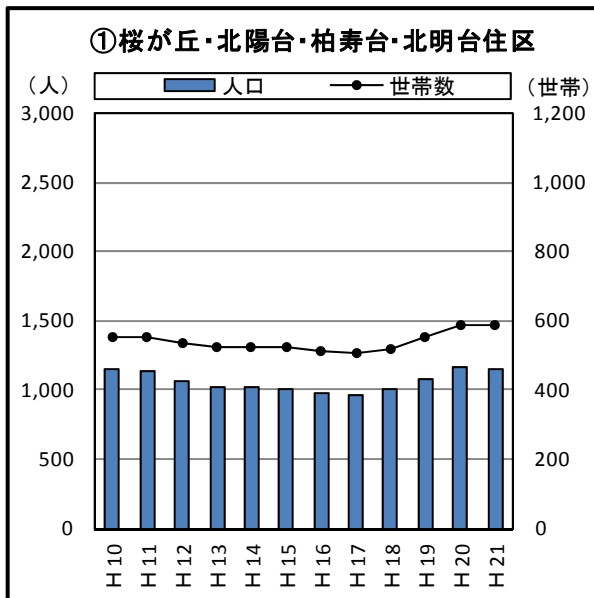
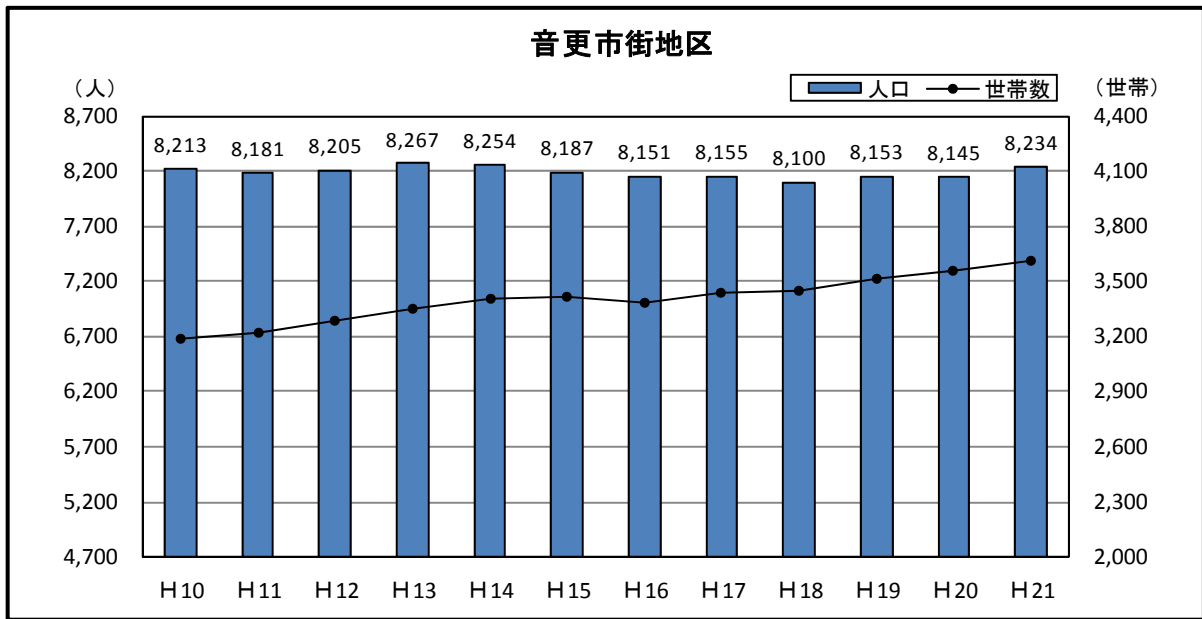
なお、各グラフは次の内容で作成しています。

○地区のグラフ：人口軸幅（4,000人）、世帯数軸幅（2,400世帯）

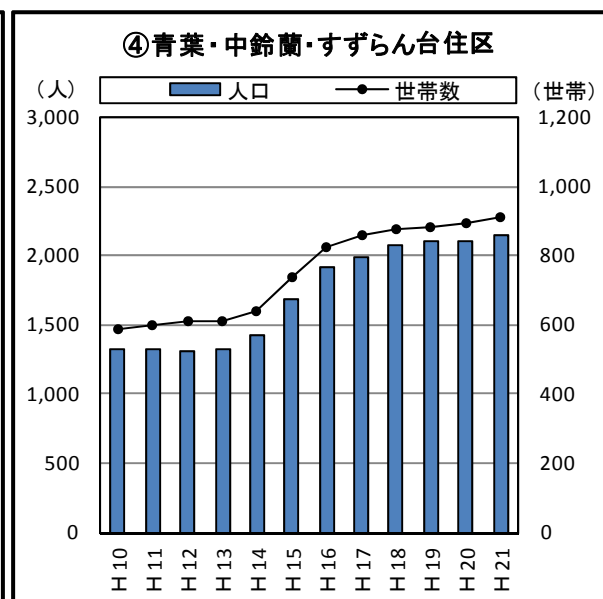
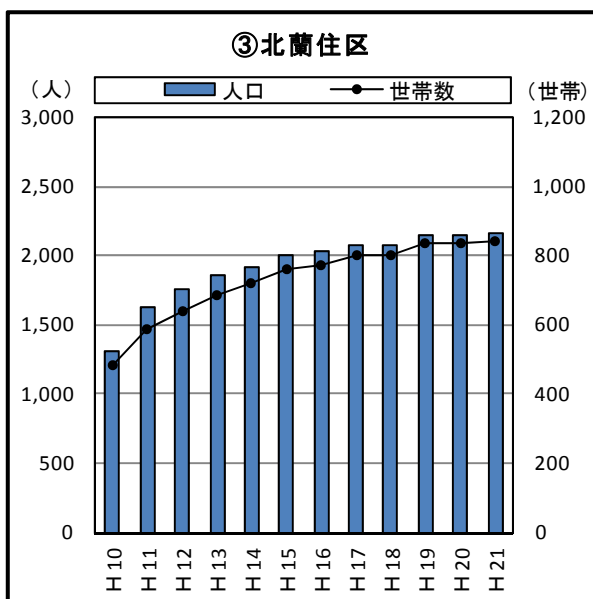
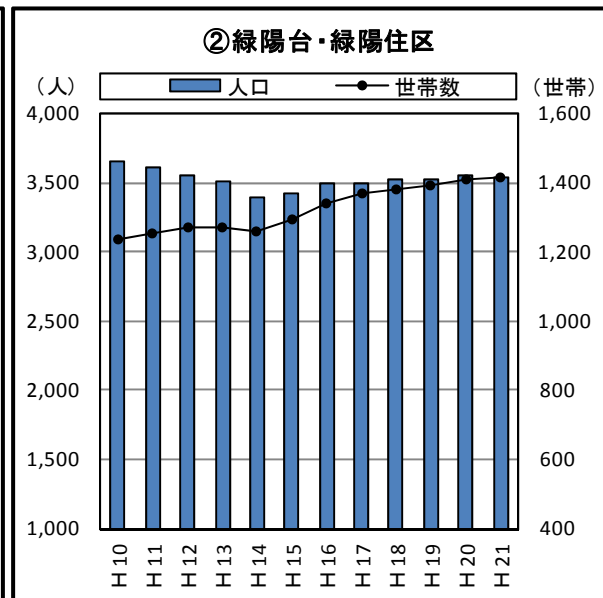
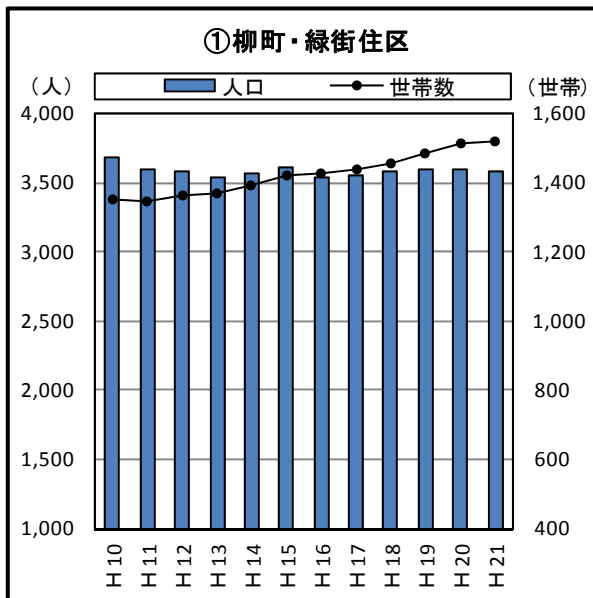
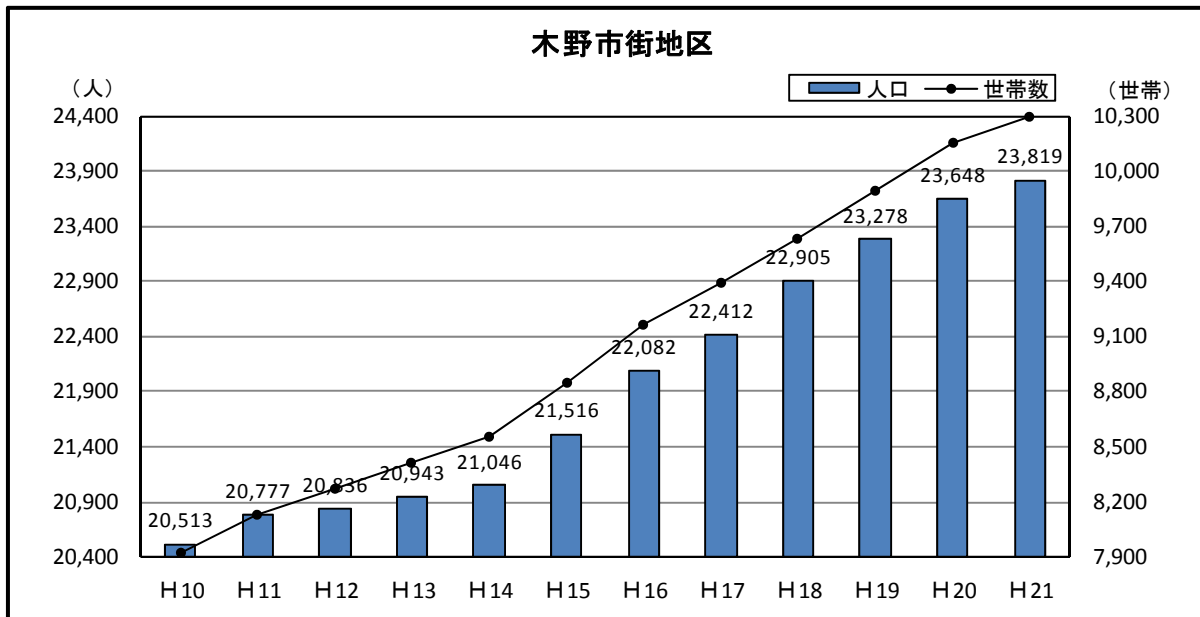
○住区のグラフ：人口軸幅（3,000人）、世帯数軸幅（1,200世帯）

地 区 名	行 政 区 名
1 音更市街地区	
①桜が丘・北陽台・柏寿台・北明台住区	北陽台・柏寿台・桜が丘・桜が丘西・桜が丘団地・老人ホーム
②雄飛が丘住区	雄飛が丘北、南区第1～3、中区第1～2
③音更市街（12丁目以北）住区	北明・新生・双葉・三交・親和・にこにこ・六新・七福・新緑・東新緑・東栄北、南・東泉・泉・新泉・若葉・弥生・梢・花園・南花園・更葉園
④その他13丁目以南住区	東住吉・北開進・緑が丘
2 木野市街地区	
①柳町・緑街住区	柳町北、仲、南区東、南区西・緑街
②緑陽台・緑陽住区	緑陽台北区第1、2・緑陽台中区東、西・緑陽台南・緑陽・晩成園（緑陽台）
③北蘭住区	北蘭西・北蘭東・北蘭北・北蘭新町
④青葉・中鈴蘭・すずらん台住区	国療・中鈴蘭・青葉・すずらん台
⑤清和・南鈴蘭住区	清和・南鈴蘭・鈴蘭公園通
⑥木野市街（北5線以南）住区	大橋・千隆・木野2～9・木野西9～11・神田
⑦その他北5線以北住区	あやめ・開進・9線大和・楓・共栄・むつみ・共栄南
⑧共栄台・木野新町住区	木野新町・共栄高台・共栄団地・共栄台北、南、東、中央
3 宝来地区	
①宝来住区	宝来第1～5・ひびき野西町第1、2・ひびき野仲町1、2・ひびき野東町1、2
②北宝来住区	北宝来1～3
③藤が丘・北藤が丘住区	藤ヶ丘・北藤ヶ丘
4 温泉地区	温泉
5 駒場地区	
①駒場住区	西駒場・駒場
②牧場住区	牧場
③高校・その他住区	中駒場・北駒場・高校・朝日
6 農村東北部地区	
①豊田住区	豊秋・柏葉・東豊田・光
②東音更住区	東平和・元林・北林・富士・忍・武儀・南武儀・勲・稲穂・瑞穂・南中新政
③東和住区	八千代・報徳・錦・稔・北昭和・西昭和・東昭和・中昭和・元昭和・昭和・福平・共和・音幌
7 農村東南部地区	
①下土幌住区	栄進・栄・北進・桜田・春日・相生・富丘
②長流枝住区	長流枝
③温泉農村部住区	東旭・旭
8 農村西南部地区	
①音更・東士狩住区	住吉・東士狩・矢部・門前・東昭栄・昭栄・晩成園（東士狩）
②鈴蘭・然別住区	大和・鈴蘭・然別・南大和
③万年・高倉住区	鎮練・万年・高倉
9 農村西北部地区	
①上然別住区	上然別・北上・誉・北栄
②南中音更住区	牧・北柏・南柏・大盛・下牧
③西中音更住区	更正・共力・友進・西中・上牧
④中音更住区	東中音更・共進・大牧・光和・西大牧

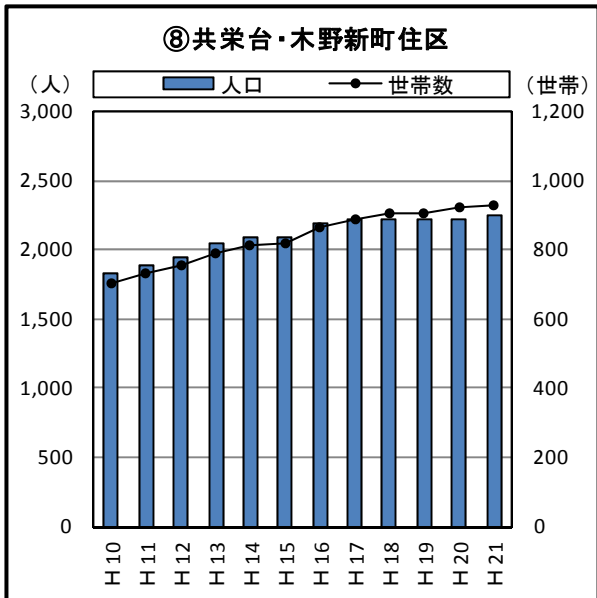
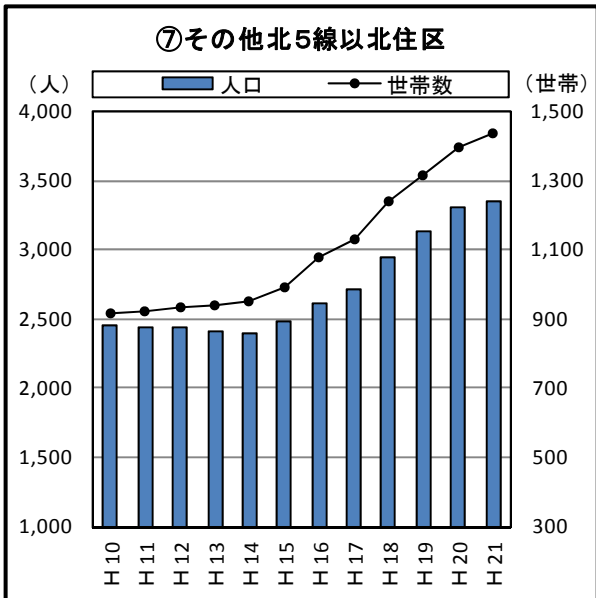
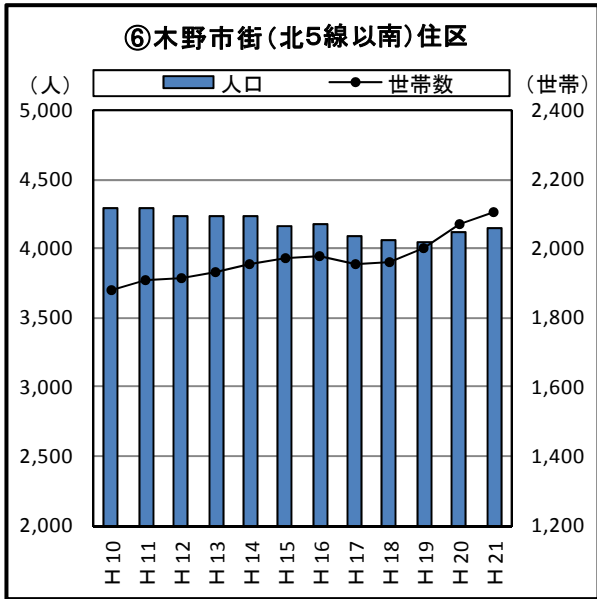
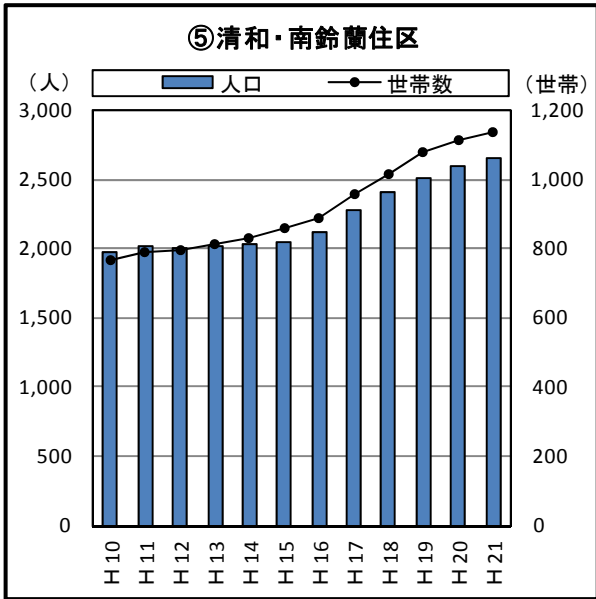
(1) 音更市街地区



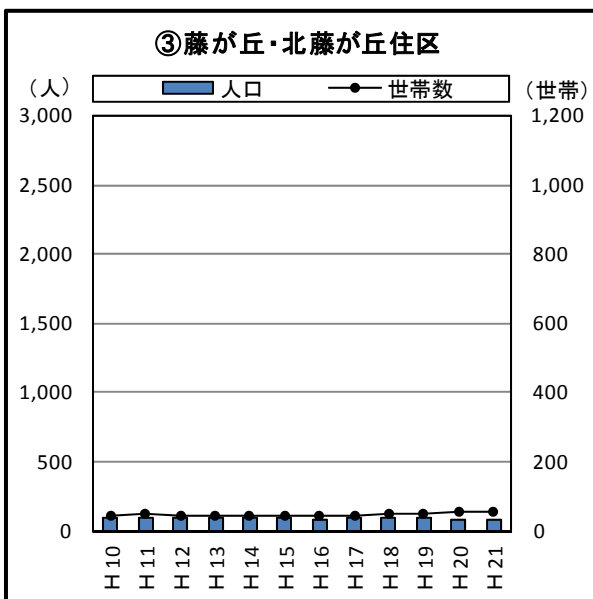
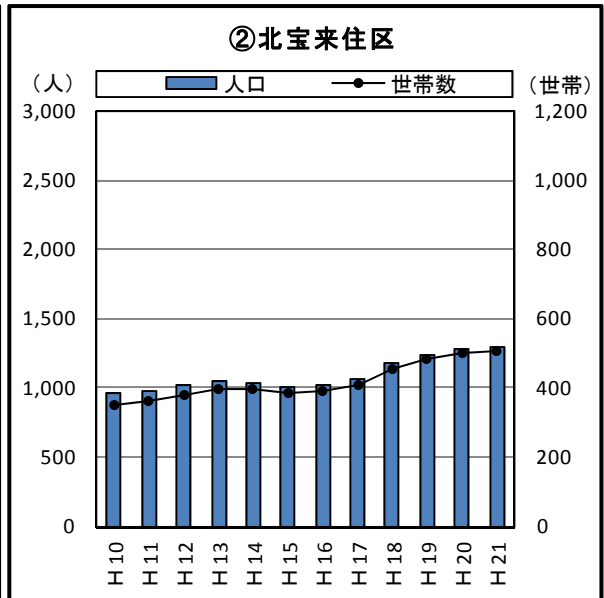
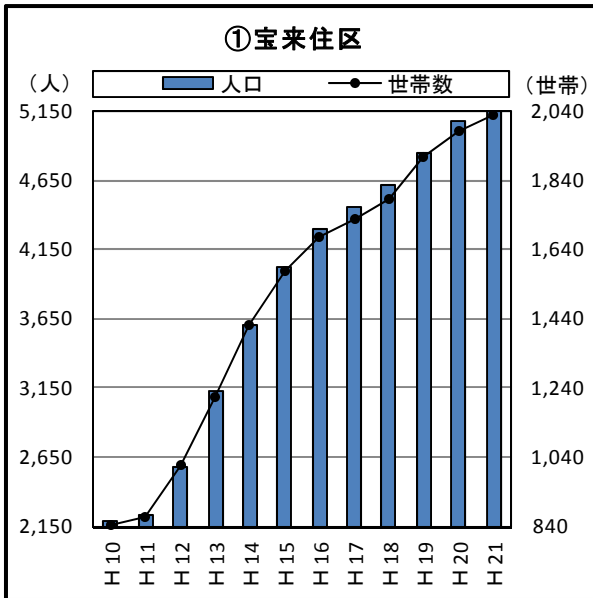
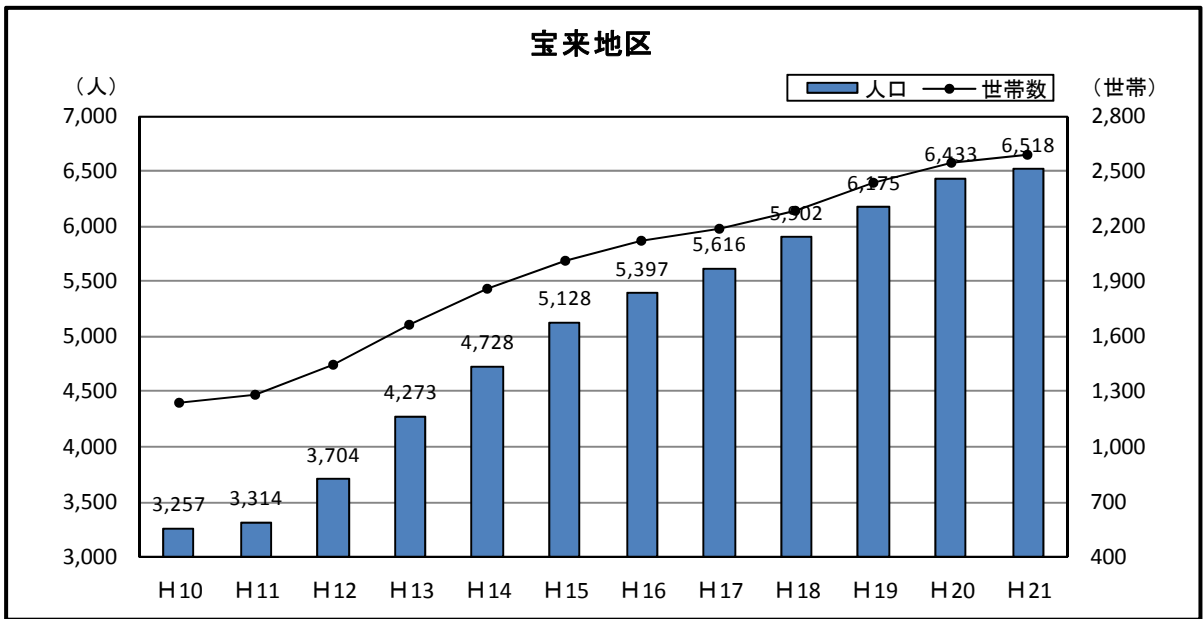
(2) 木野市街地区



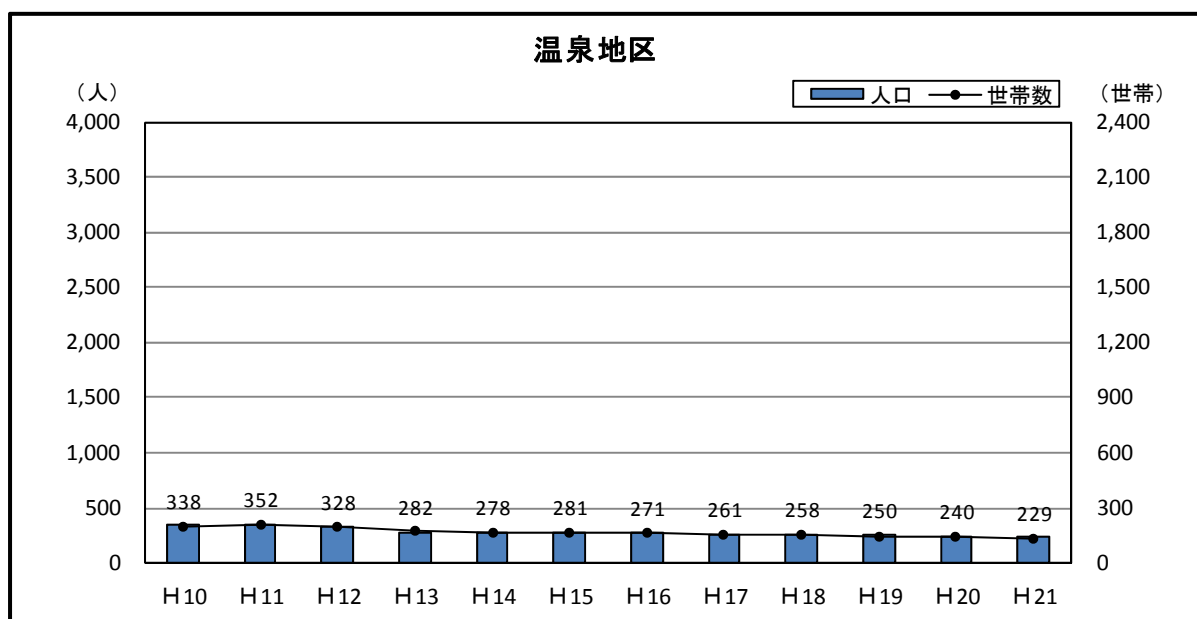




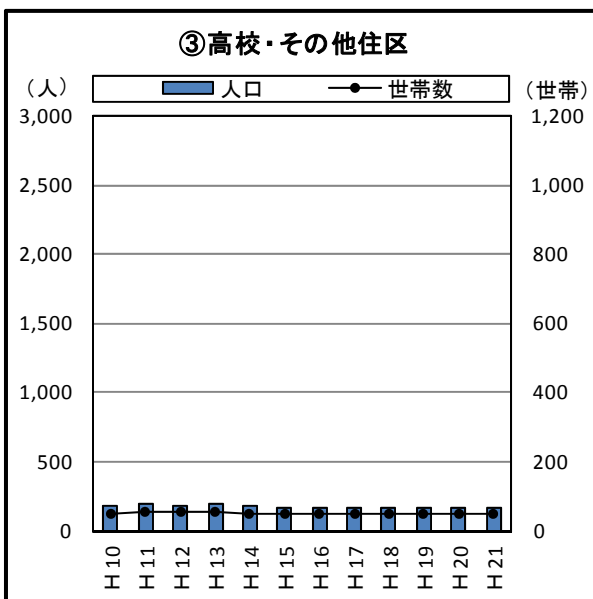
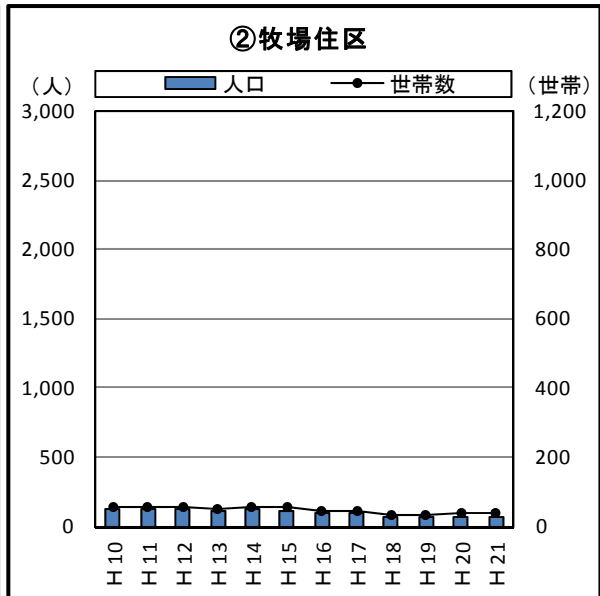
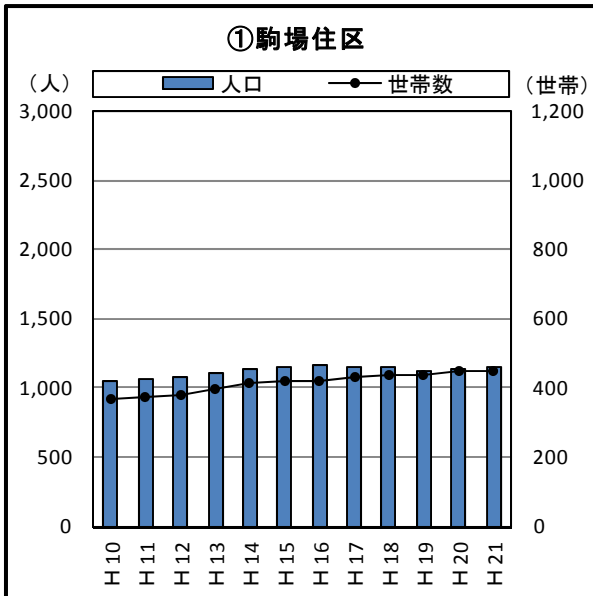
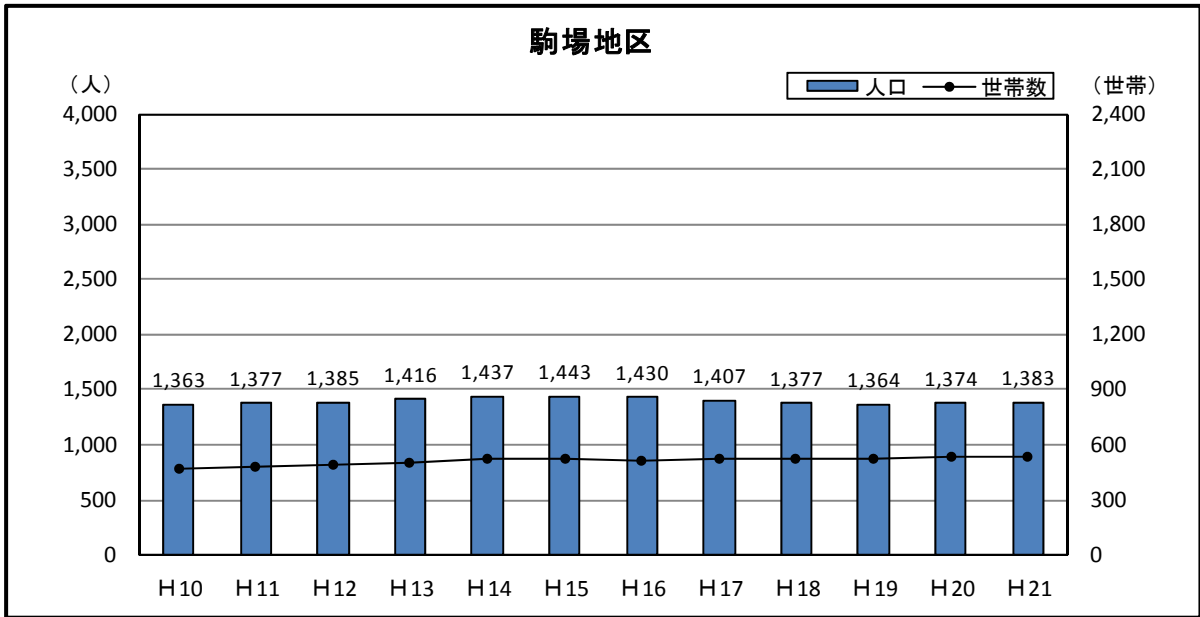
(3) 宝来地区



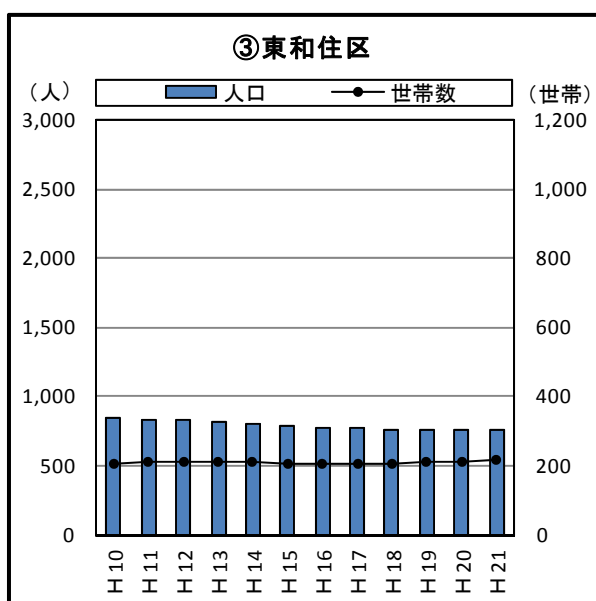
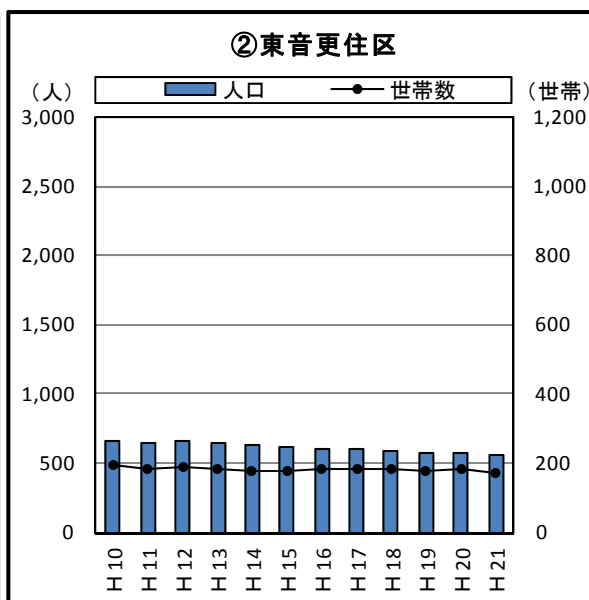
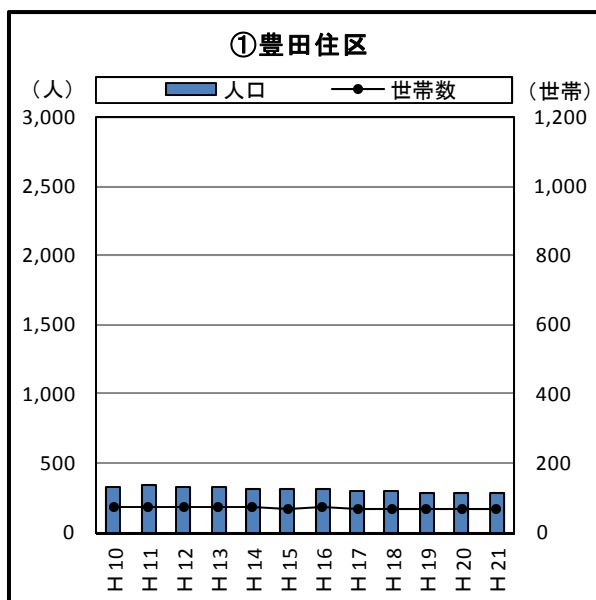
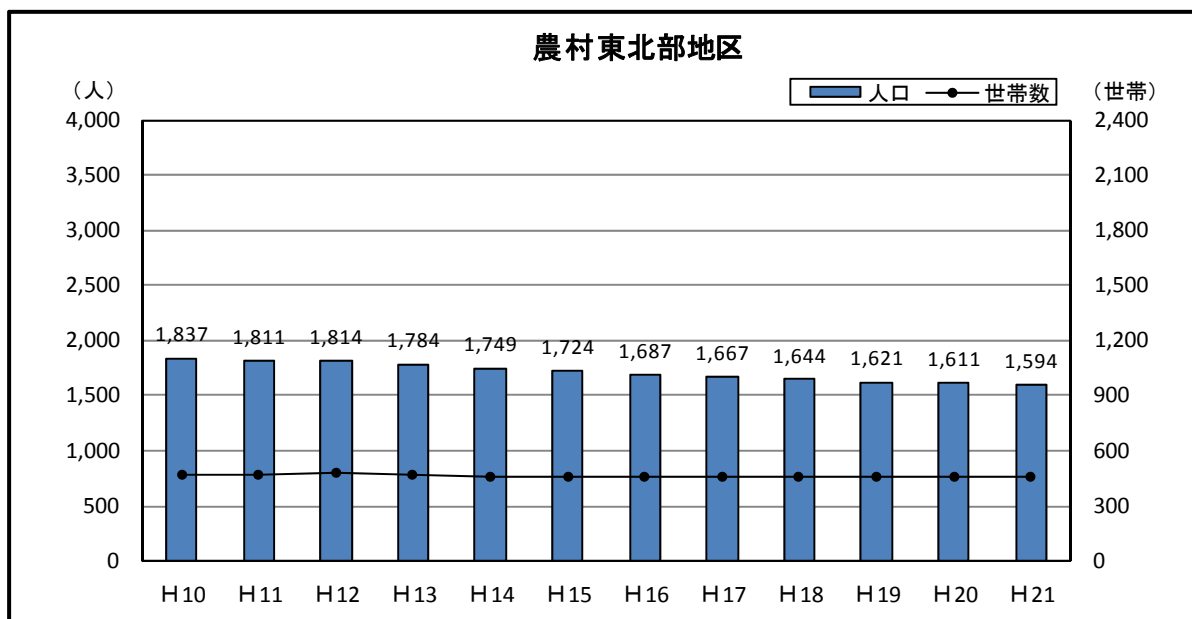
(4) 温泉地区



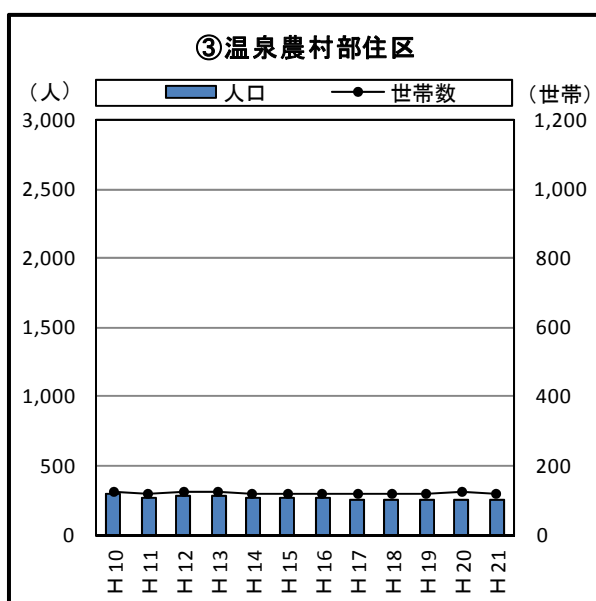
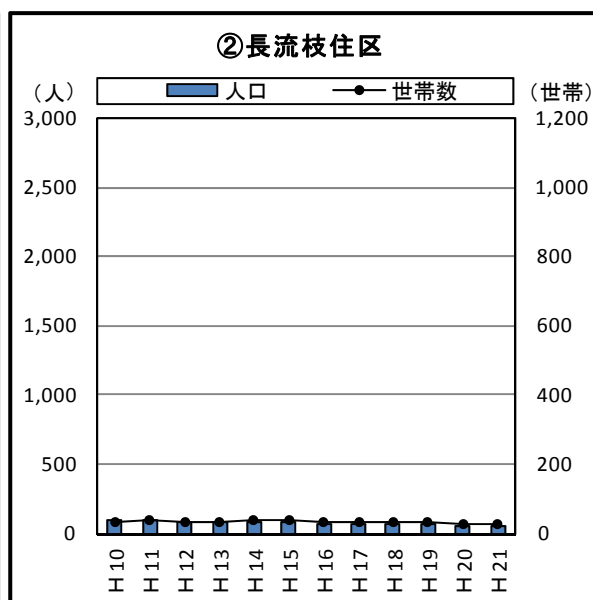
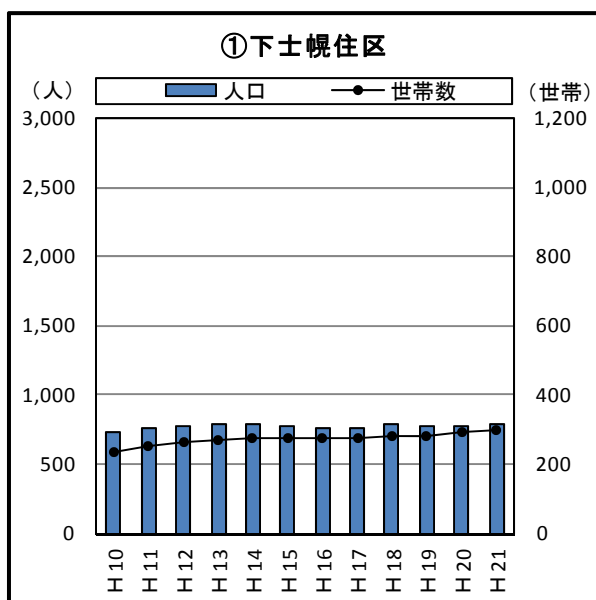
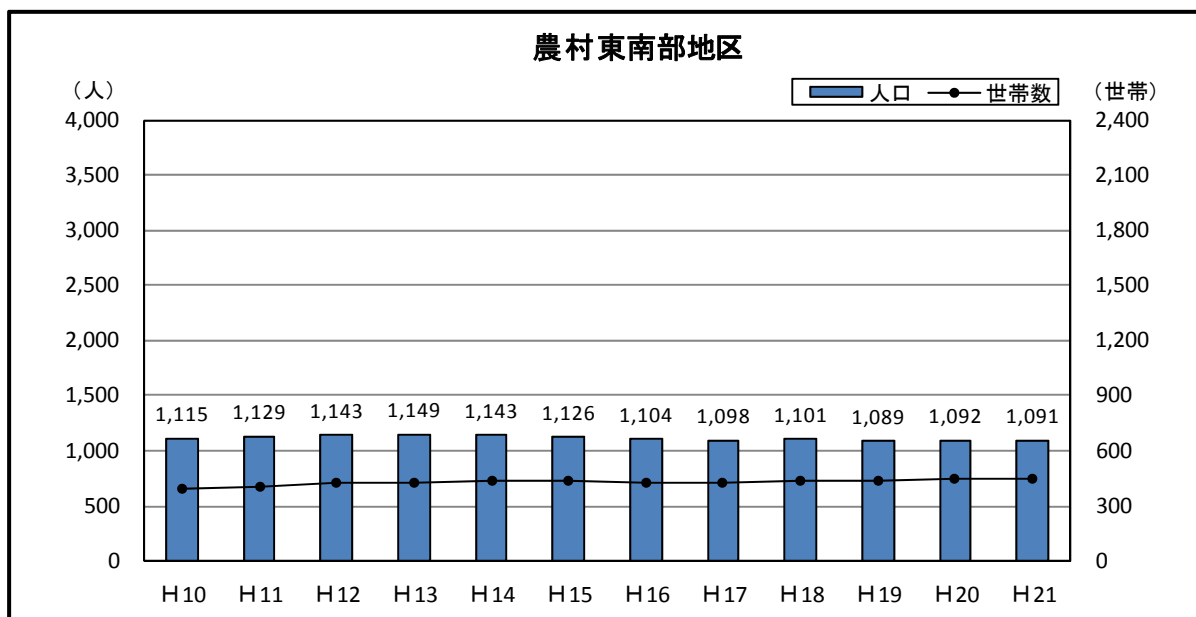
(5) 駒場地区



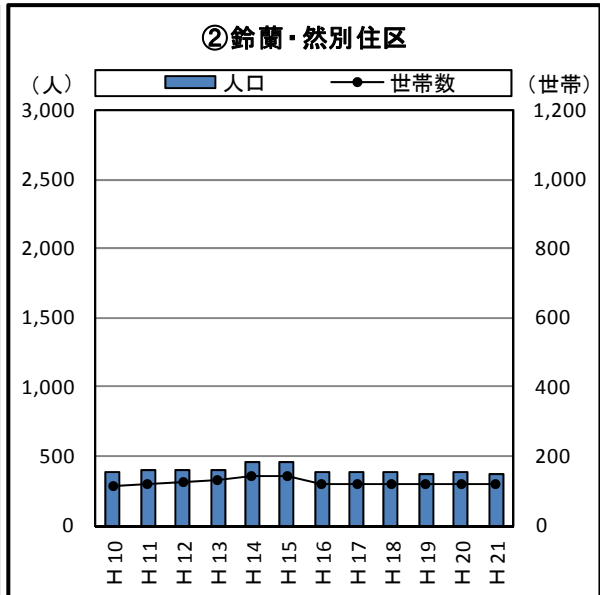
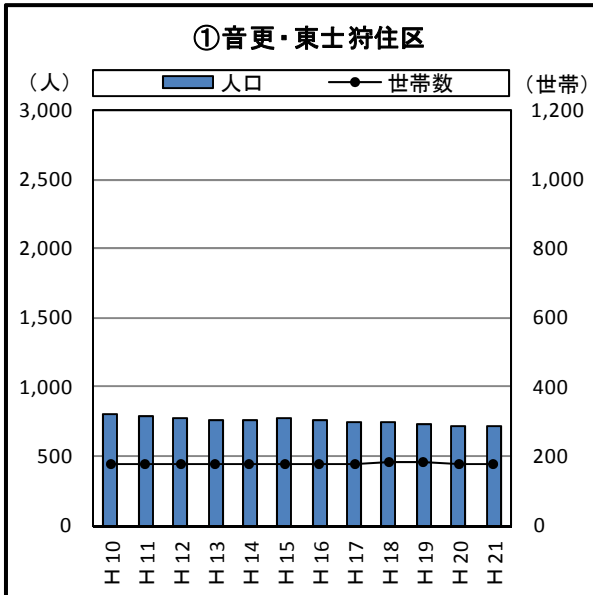
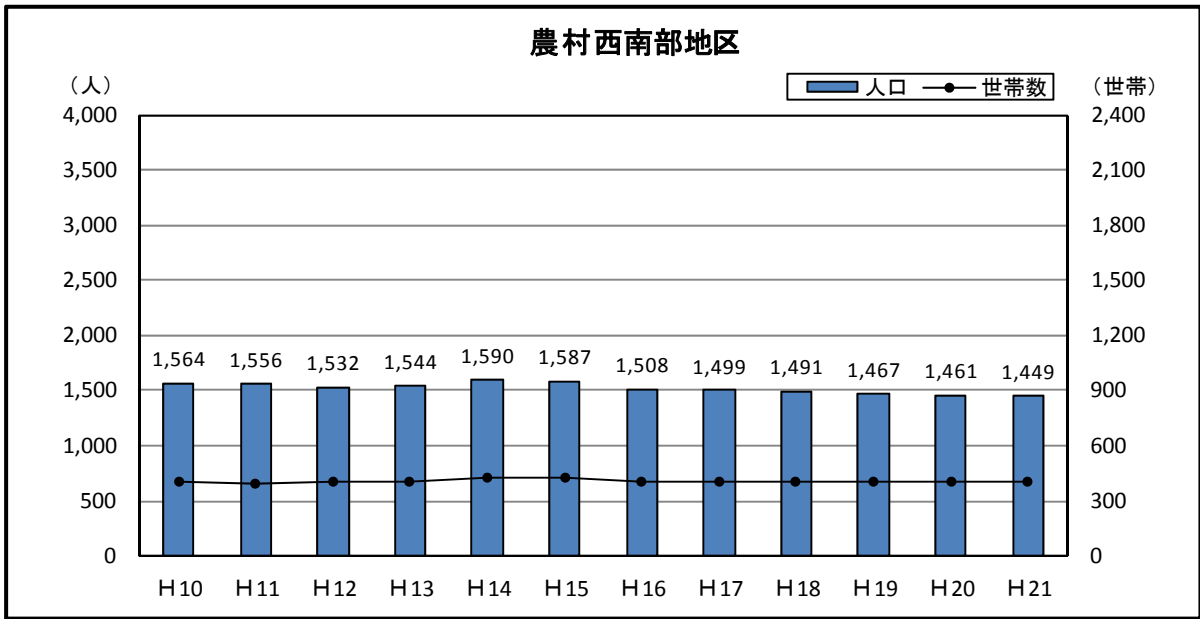
(6) 農村東北部地区



(7) 農村東南部地区



(8) 農村西南部地区



(9) 農村西北部地区

